

大交流時代への新たな航海!

～海・しま・大地とひとが奏でる活みなぎるまちづくり～

広報 ひらど

Hirado City Public Relations

2007
November

11

平成19年

No.026

昔ながらの手作業で 古代米を収穫

～北松農業高校1年生による古代米の栽培～

Contents

特集◎平戸市総合計画◎

まちづくり構想決定

▷P02

イベントインフォメーション

▷P06

観光人材育成プロジェクト

▷P08

まちのできごと

▷P10

まちのひとびと

▷P14

みんなの図書館

▷P16

サン・ケア平戸通信

▷P17

平戸遺産～館浦の須古踊～

▷P18

伝建NEWS、おしえて年金

▷P19

たびら中瀬草原クロスカントリー大会

参加者募集

▷P20

いきつきの「ココがスゴカ!」作品大募集

▷P21

平戸市からのお知らせ

▷P22

情報ひろば

▷P26

人口の動き・編集室からひとこと

▷P28



Hirado City Public Relations



Hirado city Public Relations
2007.11 VOL.26
広報ひらど 平成19年11月号

2100

古紙配合率100%再生紙、大豆油墨を使用しています。

【編集・発行】平戸市総務課 〒859-5192 長崎県平戸市若の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-5178 ■URL <http://www.city.hirado.lg.jp>
■E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp ■印刷/有明印刷株式会社

LIFELONG LEARNING



平戸市民生涯学習 まちづくりフォーラム &第2回平戸市公民館大会

11/17(土)

午後1時～
平戸文化センター
入場無料

平戸市では、市民のみなさんが、生涯のいつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、学習した成果が活かされ、適切に評価される社会、いわゆる生涯学習社会の実現を目指しています。今回、本市の生涯学習推進を市内外のみなさんに広くアピールするため、このフォーラムを開催し、「生涯学習都市宣言」を発表する予定です。市民のみなさんの参加をお待ちしています。

大会
テーマ

「学んでみよう そこには新しいあなたと まちキラリ!」

○生涯学習都市宣言 ○ロゴマーク発表 ○生涯学習まちづくり表彰 ○公民館表彰

○基調講演

演題 「生涯学習を如何に活かすか」

講師 大堀 哲氏 (長崎歴史文化博物館長)

○レクチャーフォーラム

テーマ 「一わたしが主役のまちづくり」

コーディネーター 福留 強氏

(全国生涯学習まちづくり協会理事長・聖徳大学教授)

パネラー 村 節雄氏(木ヶ津千灯籠春まつり実行委員長)、村田 勝氏(中津良川ほたる保存会長)、
坂本ヨウ子氏(山田婦人会長)、岡田 真氏(東荻田区长)、白濱 信(平戸市長)

大会
内容



大堀 哲氏



福留 強氏

生涯学習って
なに?

私たち一人ひとりが自分の日常生活をより豊かなものにするために、学習や文化活動、ボランティア活動、地域活動などのさまざまな活動を行うことを「生涯学習」といいます。

お問い合わせ

平戸市民生涯学習まちづくりフォーラム実行委員会
事務局(生涯学習課内) ☎(内線2625)



◎今月の表紙

10月17日、北松農業高校前の水田で、古代米3種(黒米・赤米・緑米)の収穫が行われました。田平町には、弥生時代の稲作文化の成り立ちと展開を示す里田原遺跡があることから、同校では、3年前から古代米を栽培。毎年1年生全員で、昔ながらの手作業で歴史文化に触れながら稲作に取り組んでいます。



◎人口の動き

■平戸市人口/38,425人(-17)

男性/18,089人(+2)

女性/20,336人(-19)

■世帯数 14,545戸(+12)

※()は、前月との比較

平成19年10月1日現在

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

Editorial

編集室からひとこと

先日「平戸くんち」で4年ぶりにジャ踊り(築地町)に参加しました。一番印象に残ったのは、見学に来た園児や小学生の目の輝き。我れ先にと御神幸行列やジャ踊り、獅子舞(宮の町)などを見る姿は、印象的でした。伝統芸能を守り続けていくことは難しいことですが、この祭礼行事が、いつまでも絶えることなく市民のみなさんに愛される行事であってほしいと感じました。

今月号の、まちのできごとに掲載している「木ヶ津を描こうスケッチ大会&木ヶ津散策石巡り」は、毎年春に行われる木ヶ津千灯籠春まつりの実行委員会が開催したものです。このスケッチ大会の作品は、来年春まつりの会場で展示されるそうですが、スケッチ大会に限らず、菜の花の種を蒔くなど、同実行委員会は、この秋から春まつりの準備を始めており、その地道な活動に改めて感動しました。

まちづくり構想決定

平戸市のまちづくり構想

◎まちづくりの基本理念

ともに支えあっていく**協働の精神**による
市民と行政が一体となったまちづくり

◎まちの将来像

ひと(H I T O)響きあう 宝島 平戸

～将来像に込める想い～

「ひと(H I T O)」とは…

まちづくりの主役である「人」、つまり「市民」そのものを意味しています。また、市の構成地域である「平戸(Hirado)」「生月(Ikitsuiki)」「田平(Tabira)」「大島(Oshima)」の頭文字から成っており、市の一体感と国際性の豊かさも表しています。

「宝」とは…

新たな発見、未知なる可能性を強く感じることができ、夢や希望を与える力もあります。豊富な地域資源を「宝」へと磨きあげ、夢とにぎわいのあるまちを創り出し、その「宝」を求めて多くの「冒険者たち」が訪れ、あるいは「暮らす」地域となるようにとの願いを込めています。

「響きあう」とは…

自然の音や人の声が響き合い、心豊かな生活を送ることのできるまちにしていきたいという想いが込められています。また、市民や地域がともに支え合い、協力し合いながら、新たなまちづくりに向かって取り組んでいく将来を表現しています。

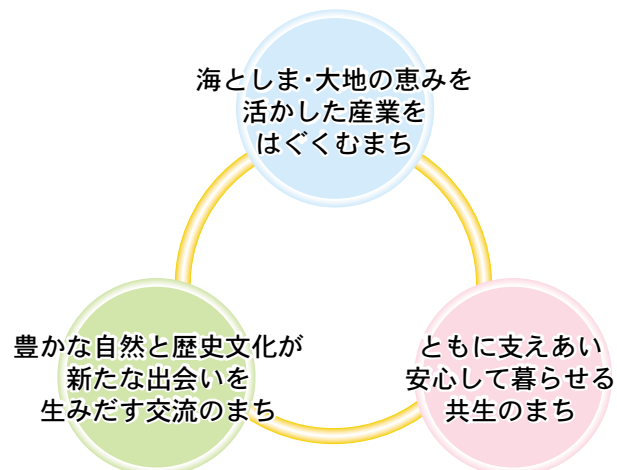
「島」とは…

豊かな自然の中で産業と文化を育み、うるおいのある生活を支え、地域の人や訪れる人がやすらげるいやしの場合、交流の舞台であるという意味と、「島」での暮らしに、愛着を持ち、誇りを持つことによって、不便なところを優位性に変える発想の転換を図ろうという意味を持ちます。

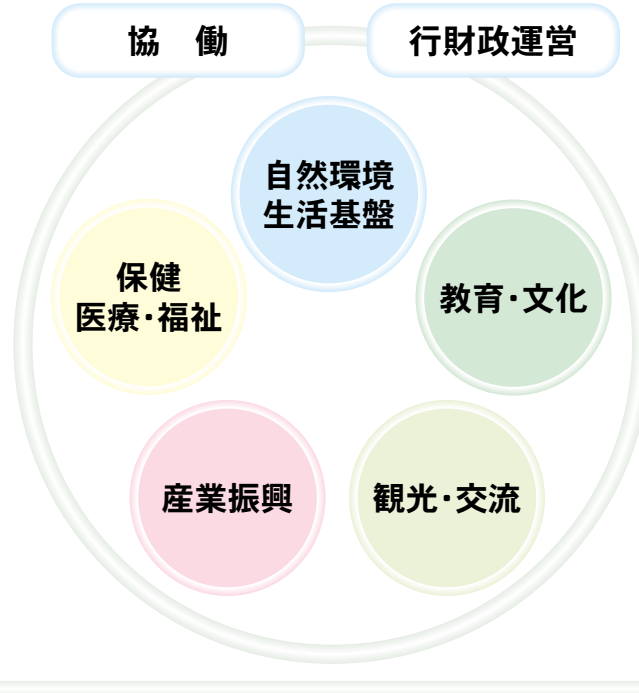
◎まちづくりの将来人口

目標 33,333人
(平成29年)

◎まちづくりの方向性



◎まちづくりの基本目標(施策の大綱)



特集◎平戸市総合計画

まちづくり構想決定

平戸市のまちづくり構想(総合計画基本構想)が9月定例市議会において議決されました。基本構想は、地方自治法第2条第4項の規定に基づき策定するもので、市の行政運営の基本指針となります。その概要についてお知らせします。

お問い合わせ 企画課企画調整班(☎内線2335)

何のために策定したの？

市を取り巻く環境は、市町村合併という大きな歴史的变化に加え、景気の地域格差の拡大、少子・高齢化の進行、ライフスタイルの多様化など大きく変動しており、人口の減少、厳しい財政状況など、さまざまな課題に直面し、地域の活力の低下が懸念されています。

また、地方分権が進展しており、自律する市を目指しての変革が求められています。

このような背景を踏まえ、総合的かつ計画的・効率的な行政経営を行うため、中長期的な展望に立った総合計画を策定し、魅力ある元気な平戸を創造する必要があります。

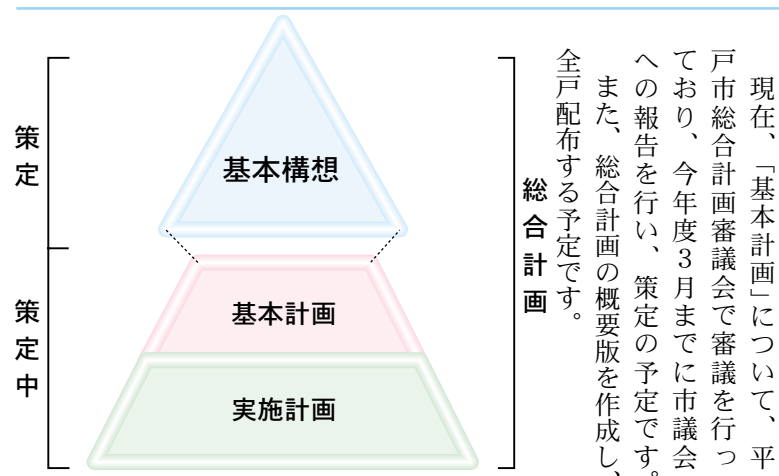
そこで、今後10年間のまちづくりにおいて、市が目指す「将来像」や「目標人口」などを設定した基本構想を策定しました。

総合計画とは？

総合計画は、市がまちづくりを行う上での最上位に位置付けられる計画であり、市民と行政が目標を共有し、ともにまちづくりを進めるための考え方や方針を示すものです。

総合計画の構成は、今回策定した「基本構想」、基本構想を実現するために必要な各施策分野の方向性を体系的に示す「基本計画」および各分野の施策を具体化した「実施計画」の3層から成り立ちます(下図参照)。基本構想および基本計画の期間は、平成20年度から平成29年度までの10年間で、

また、基本計画については、中間年度の平成25年度に見直しを行います。実施計画は3年間とし、財源不足にならないように進捗状況を見ながら毎年見直しを行います(下図参照)。



20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
基本構想(20年度～29年度)									
基本計画(20年度～29年度) 見直し(平成25年度)									
実施計画(20～22年度)									
実施計画(21～23年度)									
実施計画(22～24年度)									
毎年度のローリング									



まちづくり構想決定

まちづくりの基本目標（施策の大綱）

まちの将来像の実現を目指し、効果的・効率的な施策の展開を図るため、すべての施策に共通した目標である2つの共通目標と、分野ごとの目標である5つの基本目標を次のとおり定めました。

■共通目標

1

参画と連携による自立した地域の確立【協働】

～市民が主体的にまちづくりに取り組み、市民が主役の行政経営が行われるまち～

- ▶ 市民の生涯学習等で培われた豊かな発想やニーズを行政に反映する仕組みづくりの構築
- ▶ 行政経営への積極的な市民参画の推進 など

2

効果的・戦略的な行政経営への転換【行財政運営】

～効率的な財政運営と効果的で高度な行政サービスが提供されているまち～

- ▶ 行政サービスの維持・向上と財政運営の効率化
- ▶ 機動性が高く、政策形成機能が充実した組織の確立 など

■基本目標

1

自然と共生した安全で快適な生活基盤の確保【自然環境・生活基盤】

～豊かで美しい自然環境が保全され、安全で暮らしやすいまち～

- ▶ 自然環境との調和を基調に、環境負荷の少ない循環型社会の構築
- ▶ 防災、消防体制の強化による安全なまちづくりの推進
- ▶ 地域内外の情報交流や情報発信の積極的な推進 など

2

健やかで笑顔とやさしさがあふれる地域社会の形成【保健・医療・福祉】

～すべての市民が心身ともに健康で、安心して生き生きと生活できるまち～

- ▶ 健康増進を中心とした保健サービスの充実 ▶ 高齢者や障害者の社会参加の促進
- ▶ 安心して子どもを生み育てられる子育て環境の整備 など

3

明日を担う人材の育成と個性豊かな地域文化の振興【教育・文化】

～市民一人ひとりの人権が尊重され、教育や芸術文化活動、社会活動に生き生きと参加し、自己実現ができるまち～

- ▶ 人権教育の充実と平和意識の高揚 ▶ 生涯学習、生涯スポーツ、芸術文化活動などの支援
- ▶ 児童生徒が生涯にわたり、人間として成長と発達を続けていく基盤となる力の育成 など

4

活力ある産業振興と雇用の創出【産業振興】

～すべての産業が活性化し、市民の生活が豊かで安定しているまち～

- ▶ 農林水産物の生産性向上と流通・販売体制の改善、高付加価値化等による生産額の向上
- ▶ 福祉、教育等に関連したコミュニティビジネスなどの新たな内発型産業の育成と雇用の場の創出
- ▶ 農林業・水産業・観光業・商業が一体となった特産品等の開発と、安定的に供給できる体制づくりの推進 など

5

魅力ある観光の振興と交流人口の拡大【観光・交流】

～国の内外から多くの人々が訪れ、市民と交流し、楽しく快適に過ごすことができるまち～

- ▶ 農林水産業等と連携した体験型メニューや海を活かした個性的な観光メニューの提供
- ▶ ゆっくりと堪能できる魅力ある滞在型観光地の形成
- ▶ 国際交流と地域間交流の推進 など



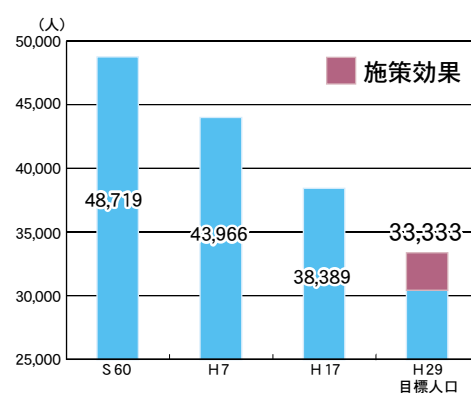
10年先の将来像を実現するには、長期的視野に立ったしつかりとした揺るぎない信念・心構え（基本理念）が必要です。

そこで、基本構想では、「ともに支えあつていく協働の精神」による、市民と行政が一体となった「まちづくり」を、基本理念として掲げ、多彩で魅力ある地域資源を最大限に生かし、「協働によるまちづくり」を市の戦略ととらえ、「やらんばー平戸」の合言葉のもと、市民のみなさんと行政が一体となった「平戸ならでは」の特色あるまちづくりを進めます。

まちづくりの基本理念

まちづくりの将来人口

国勢調査人口および目標人口



国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、日本の総人口は、年々減少が続くと予想されています。本市の人口についても同様で、平成29年には、30,401人と見込まれています。人口の減少は、まちの活力の低下に直結する深刻な問題といえます。

このことから、将来像を実現するため、基本目標（施策の大綱）に基づく各種施策の展開を図ることで、『市の将来が燦々（きらきら）と光り輝くものとなるように』という願いをこめて、目標年次である平成29年の目標人口を、33,333人と設定しました。

併せて、市では、協働の推進により、まちづくりの活動量（活動する市民のみなさんの人数や時間）を増やすことによって、まちの活力の維持・拡大を図ります。

まちづくりの方向性

まちの将来像を実現するために、次の3つの方向性を掲げ、地域資源を活かしたまちづくりを推進することとしています。

- 1 海としま・大地の恵みを活かした産業をはぐくむまち
- 2 豊かな自然と歴史文化が新たな出会いを生みだす交流のまち
- 3 ともに支えあい安心して暮らせる共生のまち

まちづくりの基本的な考え方

まちの将来像の実現のために、効果的に施策が展開されるよう、施策全体に共通する基本的な考え方を次のように定めています。

- 1 協働によるまちづくり
本市にあつたさまざまな形の「協働」を創りあげ、市民とともに協働によるまちづくりに取り組みます。
- 2 生涯学習による人づくり、人を大切にするまちづくり
まちづくりの基本は、人づくりです。地域のリーダーや後継者となる人材の確保と育成を図り、まちづくりを推進します。

- 3 市民力を結集する仕組みづくり
あらゆる市民のアイデアが、市政に反映されるよう市民力を結集し、活力を創出するまちづくりの仕組みづくりに取り組みます。

※まちづくり構想の詳細な内容については、市ホームページ（トップページ）「市政」→「すすめていますまちづくり」→「平戸市総合計画」に掲載していますのでご覧ください。

また、企画課企画調整班、各支所、各出張所でも閲覧できます。

▼URL
<http://www.city.hirado-nagasaki.jp/>



大島村ふるさとまつり

～ふるさとに誇りを、子供たちに夢を～

午前10時～午後3時

／大島支所前広場

11/11日

毎年恒例の大島村産品の即売会はもちろん、今年は「宮史郎ショー」を開催します！

- 園児おゆうぎ
- 合唱（大島小学校）
- コーラス（大島中学校）
- 猶興館高校大島分校
「流儀・のんのこ踊り・バンド演奏」
- 福引き抽選会
- 農水産物即売会
- コシヒカリのすくいどり
- バザー

お問い合わせ

大島支所産業建設課産業建設班（☎内線6122）



宮 史郎ショー

食欲の秋を彩る

味なイベント勢揃い！

あら鍋まつり

／市内一部のホテル・旅館・民宿、市内飲食店

10/20土

1/31木

巨大魚“幻の高級魚アラ”を食す

平戸は海の宝石箱。ヒラメをしのぐ高級食材と言えば「アラ」。冬のアラは身がしまり脂がのって大都市の高級飲食店などで主に食されており、地元ではほとんど口に入らないほどの貴重な食材。このまつりでは、期間中に限り、市内一部のホテル・旅館・民宿、また飲食店でアラ鍋、アラ料理を食べることができます。ご家族や職場のみなさんと忘年会などで堪能してみてくださいいかがですか？

お問い合わせ

（社）平戸観光協会（☎23-8600）



—平戸大橋開通30周年記念事業—
平戸市秋の産業まつり

平戸もっかいじまん市

11/17土・18日



午前9時～午後5時（18日は午後4時まで）

／平戸港交流広場・平戸市漁協「旬鮮館」・平戸商店街区一帯

新鮮な地場産品の展示即売会や平戸・田平・生月・大島の4地区の特産品の販売、恒例のクジラ料理試食会も開催します！

- 地場産品展示即売会
- わくわく大抽選会
- 生月、田平、大島物産展
- 善通寺物産展
- クジラ料理試食会
- 焼き台コーナー（七輪の無料貸し出し）
- ギフト商品紹介
- 長崎発「平戸よかよかバスツアー」

■駐車場

平戸市役所前駐車場、平戸市役所第2駐車場、平戸文化センター横荷揚場、レストハウス駐車場
亀岡グラウンド、平戸小学校グラウンド

※会場には、駐車場がありませんのでシャトルバスをご利用ください。

お問い合わせ

観光商工課商工物産班（☎内線2275） 平戸商工会議所（☎22-3131）



いっしょに魚まつり

午前9時～午後3時30分

／館浦漁港・宮の下広場

11/23金・祝



生月地区海産物をメインとした郷土物産展に加え、子どもに大人気のヒーローショーも開催します！

- 郷土物産展
- 産業功労者の表彰
- 品評会
- ヒーローショー
- クジラ料理試食会
- バザー

お問い合わせ

生月支所産業建設課産業建設班（☎内線4134）



観光おもてなし人材育成コース

サービス業の人や地域市民のもてなしについて学ぶコースです。

『ディズニーリゾートのホスピタリティ思想に学ぶ!! ～お客様に選ばれるために～』

- と き 11月19日(月) 午前10時～正午
- ところ 平戸文化センター会議室A
- 講 師 松坂 健 氏(西武文理大学 客員教授)
- 内 容 ディズニーはどのような形で動いているのか!? キャストの感動接待実例を基に基礎概念とその本質を学びます! また、アメリカ・フロリダにある難病の子どものための夢の国「ギブ キッズ ザ ワールド」についても検証します!

食のワークショップ【初企画】

地元の景観を生かし、地元素材にスポットをあてたワークショップを9月から3月まで計6回行います。

第2回 学び舎で『食育』

- と き 11月25日(日) 午前11時30分～午後1時30分
- ところ 根獅子小学校体育館
- 参加費 200円/小人(小学生以下4歳まで)
500円/大人(中学生以上)
- 定 員 60人限定【先着順として、定員になり次第締め切らせていただきます】
- 講 師 食環境ジャーナリスト 金丸 弘美 氏
- 概 要 周りは棚田に囲まれ、その先には美しい海が広がる根獅子小学校。市内の美しい棚田で作られる平戸棚田米3品種(コシヒカリ、ヒノヒカリ、あさひの夢)をおにぎりにして食べ比べます。根獅子の海から作られた天然塩で握ってみましょう。付け合わせに平戸の天然塩で漬けた漬け物や田舎味噌汁もいただけます。地元の棚田米と地元の塩の相性をお楽しみください!



▲地元の食材を使ったイタリアンコース風の料理に舌鼓をうつ参加したみなさん

「食のワークショップー平戸素材の劇場ー」

9月19日、福田酒造で、「食のワークショップー平戸素材の劇場ー」が開催されました。これは、「食」にテーマを絞り、料理人や生産者、各種専門家とのコラボレーションを踏まえて、さまざまな立場の観点から、地域の活性化を図るため、今年初めて実施しているものです。会場では、洋食のシェフ・谷川克城氏と、和食の板前・宮國和彦氏が、当日水揚げされた魚介類を使って、イタリアンコース風の趣向を凝らした料理をその場で調理。市内外から訪れた30人のみなさんは、生産者と食環境ジャーナリストの金丸弘美氏の説明を聞きながら、一つひとつの料理を味わっていました。

お問い合わせ

平戸・松浦地区観光人材育成協議会事務局(観光商工課内) ☎内線2276

E-Mail: kankou_jinzai@city.hirado.lg.jp

URL: <http://www.city.hirado.nagasaki.jp/jinzai/>

※どなたでも参加できますが、参加を希望する場合、事前に申込みが必要です。応募多数の場合、参加できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

Human resource Development Project for Tourism in Hirado and Matsuura

観光産業を核に、地域の活性化と雇用の創出を目指します!

平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト

「特産品開発」、「食・地産地消」、「もてなし」、「体験型観光」の4つの分野における人材を育成し、地域産業の再生による雇用の創出を目的に実施していますこのプロジェクトは、10月に実施した『基礎講座』にも多数の市民のみなさんに参加していただきました。11月～12月上旬も各分野において活躍している講師を招いて実施しますので、ぜひご参加ください。



目玉商品・新みやげ品開発人材育成コース

地域の素材を生かした新たな魅力ある特産品を創出できる人材の育成を目的としたコースです。

『今、九州ではコレが売れている!～売れ筋・人気のワケを探る～』

- と き 11月27日(火) 午前10時～正午
- ところ 平戸文化センター会議室C
- 講 師 金子美代子 氏(有限会社M&M 代表取締役)
- 内 容 テレビや新聞など、メディアの視点を通じて、特産品づくりの現場の最新情報を参考に、今の時代にあった消費者にウケるものづくりについて学びます。

新郷土料理・地産地消推進人材育成コース

地域の素材を新たな魅力ある名物料理の開発、地のものにこだわった農家・漁師レストランや地場産品直売所などを立ち上げることを目的としたコースです。

『地域ブランドをどのようにすれば全国・世界ブランドに格上げできるか!?!』

- と き 11月30日(金) 午後2時～午後4時
- ところ たびら活性化施設研修室1・2
- 講 師 小林憲一郎 氏(流通経済大学大学院 教授)
- 内 容 ブランド化のキーワードは、「こだわり」「限定品マーケティング」「ストーリー性」「ITの活用」。ブランド構築に必要な考え方を学びます。

木ヶ津町の秋を スケッチと散策で堪能！

9月23日、木ヶ津町一帯で、「木ヶ津を描こうスケッチ大会&木ヶ津散策石巡り」(木ヶ津千灯籠春まつり実行委員会主催)が開催されました。例年開催されているスケッチ大会に加え、今年は普門寺(市指定史跡)や風香寺周辺、水岳などに見られる石灯籠などの石文化に触れながらの散策を楽しむ「木ヶ津散策石巡り」も開催。両イベントには、市内外から約30人が参加し、木ヶ津町の情緒あふれる秋の景色を描いたり、歴史に触れながら散策を楽しんでいました。



木管楽器の優しい音色に包まれて

9月23日、最教寺奥之院(岩の上町)で、ながさき音楽祭2007「秋風のクインテット〜ぬくもり奏でる木管楽器たち〜」が行われました。県内で唯一プロとして活躍中のOMURA室内合奏団のメンバーを中心に、フルート、ホルン、クラリネット、オーボエ、ファゴットの五重奏の形態で、クラシックから日本の童謡まで幅広い曲目が演奏されました。会場には、約200人の市民のみなさんが来場し、普段聴くことのできない木管楽器の調べに酔いしていました。



中部中の生徒がオペラに挑戦！

9月28日、中部中学校体育館で、「文化庁本物の舞台芸術体験事業」アーツ・カンパニーによるオペラ「カルメン」が公演されました。舞台には、同校の道下伊一校長を始め、生徒のみなさん14人が出演者と共演。同団体との練習は一度きりだったにも関わらず、役者さながらの共演で、観客のみなさんからは大きな拍手が何度も送られていました。出演した同校のみなさんは、「緊張したけど、出演してよかった」と舞台で繰り広げられる本物の迫力や臨場感を体感したようでした。



自分でさばくと、味も格別！

10月1日と2日の両日、南部中学校で、「お魚料理教室」が行われ、2年生51人がアジやブリ、イカなどの料理に挑戦しました。この教室は、県北地区漁業士会(大谷卓也会長)が毎年学校を訪問して開催しているもので、県知事の認定を受けた漁業士の山川富士夫さん(鮎川町)、岡山稔さん(大久保町)、綾香良浩さん(主師町)が魚のさばき方などを実演指導しました。生徒のみなさんは、慣れない手つきながらも、アジの大葉巻き天ぷらやブリの照り焼きなど8品に挑戦しました。

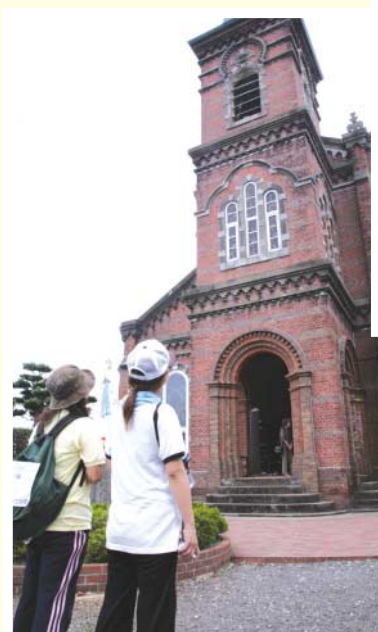


PHOTO
まちの
できごと
NEWS



秋空の下、平戸路をウォーキング

9月29日、30日の両日、「第1回ひらどツデーウォーク大会」が開催されました。市民のみなさんや、遠くは東京や三重県から延べ1,753人が参加。生月では、西海国立公園から望む大パノラマを、平戸・田平では、教会や寺院などの歴史的建造物、川内峠からの360度の眺望を堪能しました。参加したみなさんは、「景色が素晴らしい」「こんな素晴らしいコースは初めて」「きついが楽しかった」「来年もぜひ参加したい」などと語っていました。汗と笑顔の完歩、お疲れさまでした。



平戸大橋架橋30周年記念
ひろど2007 ツデーウォーク



※第2回大会は、来年9月27日(土)・28日(日)に開催予定です。

久吹ダムを舞台に健脚を競う！

10月10日、久吹ダム(田平町福岡免、岳崎免)で、市中学校総合体育大会駅伝競技が行われ、市内の中学校9校が参加しました。男子の部、女子の部にそれぞれの選抜チームが出場し、久吹ダムの周回コースで白熱したレースを繰り広げました。

大会結果は次のとおり。
【男子の部】 優勝 田平中・準優勝 生月中
3位 中部中
【女子の部】 優勝 中部中・準優勝 南部中
3位 生月中



社会福祉に役立てて

10月1日から年末まで展開される赤い羽根共同募金運動の一環として、10月10日、宮の町一帯で、市地域婦人団体連絡協議会(土肥テイ会長)のみなさん約10人が、街頭募金活動を行いました。同団体は、「地域のために何かお役に立ちたい」と今年初めて街頭募金を実施。道行く市民のみなさんに大きな声で募金を呼びかけていました。

今回集められた募金は、平戸市社会福祉協議会を通じて長崎県共同募金会に送られ、地域の社会福祉事業の推進に役立てられます。



美しい歌声にウットリ

10月14日、平戸文化センターで、平戸ジャガタラ合唱団演奏会が行われました。当合唱団が結成されてから30年という節目を記念して行われ、郷土の歴史を物語る数々のオリジナル曲を中心に17曲が発表されました。

当日は、「平戸の四季」や「平戸さくら」などの郷土にちなんだ歌のほか、合唱と舞踊との共演も披露されました。

会場には約150人が来場し、美しい歌声と華麗な舞踊に酔いしれ、感動の拍手に包まれていました。



隆乃若関、おつかれさまでした！

10月15日、隆乃若関(元関脇)が引退の報告のため、白濱市長を表敬訪問。白濱市長と市民のみなさんのこれまでの応援に対し、感謝の意を述べました。平成14年の九州場所では、大関栃東や千代大海など上位力士を次々と破り、次の場所では東の関脇に昇進。最近はけがが重なり、苦しい場所が続いていましたが、相撲に対するひたむきな姿勢が、全国の人たちに感動を与えていました。来年2月16日、両国国技館で「隆乃若関引退記念大相撲」が開催され、その中で隆乃若関の断髪式が行われます。



4種目6競技で大会新記録！

10月4日、平戸市総合運動公園で、第3回平戸市小学校陸上競技大会が行われました。大会には、市内20小学校の5・6年生796人が参加し、100m走、200m走、800m走、60mハードル、4×100mリレー、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げの8種目の競技が行われました。

各地区から駆けつけた保護者のみなさんからの熱心な応援や温かい拍手に後押しされ、好記録が続出。4種目6競技で大会新記録が出ました。



さちぜん号が全国6位入賞！

10月11日から14日までの4日間、鳥取県米子市で、第9回全国和牛能力共進会和牛博覧会が開催され、長崎県代表として第3区(17~20か月未満の若い雌牛の部)に山崎敏夫さん(下中津良町)の雌牛、「さちぜん号」が出場。見事、全国6位入賞を果たしました。

山崎さんは、「朝の散歩や1日3時間の調教、毛の手入れなど、日々の努力が実りました。まさか入賞するとは思っていなかったの、驚きました。いろいろな人に支えられての受賞です」と笑顔で喜んでいました。



田平少年柔道クラブ、 文部科学大臣表彰受賞！

10月5日、虎ノ門パストラル(東京都)で、田平少年柔道クラブ(針尾英明代表)が、生涯スポーツ優良団体として、文部科学大臣より表彰を受けました。昭和46年のクラブ設立以来、通算36年間にわたり、スポーツを通じて、地域の青少年の健全育成活動を続け、柔道の普及と発展に貢献したことを認められての受賞です。

現在も、小学生から中学生まで29人の部員が、礼儀作法の習得を基本に、日々の練習に励んでいます。



子どもからお年寄りまで 和氣あいあいと

10月7日、大島中学校グラウンドで、「第2回大島村体育大会」が開催され、大島地区のみなさん約600人が参加しました。

地区公民館対抗とあって、リレー競技や綱引きなどでは各地区意地と意地とのぶつかり合い。会場は、声援や太鼓の音で終始にぎわっていました。このほか、園児のみなさんによるお遊戯や猶興館高校大島分校の生徒のみなさんによる流儀の披露なども行われました。

【優勝】前平公民館 【準優勝】大根坂公民館





うらかわ まりこ
浦川 真理子さん(20歳・田平町小手田免)
「何でも気軽に話しかけてもらえるような
店員を目指します!」

- 勤務先
aUショップ平戸店
- ニックネーム
まりこ
- 性格は？
頑張り屋さん
- 趣味・特技
ドライブ



2年前からaUショップに勤務し、1年前から地元の平戸店に勤めているという浦川さん。地元のみなさんは、いい人ばかりで毎日楽しく働いているとか。浦川さんは、主に接客業務ですが、チラシ配りや営業のお手伝いをすることもあるそうです。「親しみやすい接客を心がけています。お客様から自分の顔を覚えてもらって、来店の度に声をかけてもらえると嬉しいですね」と、明るい笑顔で話してくれました。

☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆ ★お誕生日おめでとう!★11月生まれ



いつも元気をありがとう!
とむら みき
戸村 美紀ちゃん
(H18.11.6生)
～康紀さん・美佐子さんの長女～
《戸石川町》



優しく素直でたくましく
大きくなりま～す!
なや げんたろう
納屋 巖太郎くん
(H18.11.18生)
～貴樹さん・喜美さんの長男～
《田平町山内免》



明るく優しい子に育ってネ!
なかむら あかり
中村 朱里ちゃん
(H17.11.28生)
～孝治さん・さやかさんの長女～
《明の川内町》

募集しています

「平戸のわっかもん」

平戸のまちで働く“わっかもん”を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介しします。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」

発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。

○応募方法 写真にお子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3 総務課広報広聴班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People CLOSE UP! ま ち の ひ と び と Club Introduction

クラブ紹介

「生月民謡保存会」



活動DATA

活 動 日／第2・4土曜日
午後1時30分～午後3時30分
活動会場／生月町中央公民館
対 象 者／どなたでもOK!
連 絡 先／代表宅 ☎53-0009
部 員 数／14人
参 加 費／月額 500円
代 表／松本 榮子さん(生月町吉部浦)

「健康維持のため、楽しく踊っています」

生月民謡保存会は、平成9年7月に結成し、今年で活動11年目を迎えています。昭和40年に製作された「生月音頭」、平成3年に生月大橋開通記念として製作された「おいでませよ生月へ」のほか、「架橋ハイヤをどり」、「島めぐり」、「平戸田助ハイヤ節」の5曲を、故郷の民謡として後世に残そうと結成されました。各地区の敬老会や、各種施設の誕生会や七夕まつりの時などに、踊りを披露しています。神田紀子先生の指導のもと、健康づくりも兼ねて、楽しく踊っています。興味がある人はぜひご連絡ください。



「琴城流大正琴さざなみ会」

「大正琴を演奏してみませんか？ 初心者でも大歓迎です！」



活動DATA

活 動 日／毎週水曜日 午後7時30分～午後9時30分
活動会場／市多目的研修センター
対 象 者／どなたでもOK!
連 絡 先／代表宅 ☎27-2119
部 員 数／11人
参 加 費／月額 2千円
代 表／代表 石井 納さん(津吉町)

琴城流大正琴さざなみ会は、平成5年に結成し、今年で15年目を迎えます。南部地区の奥ひらど文化祭や、老人ホーム「わだつみの里」の慰問などで練習の成果を披露してきました。楽しい雰囲気の中で、地域に貢献することを忘れずに毎週練習に励んでいます。琴城流大正琴さざなみ会では、現在会員を募集しています。初心者の方も会員が初歩からお教えします。時間に都合がつかない人は昼間の練習もOK! 興味のある人は気軽に遊びに来てください。みんなで楽しく演奏しましょう!



■平戸市保健センター(サン・ケア平戸) ■生月支所市民協働課福祉保健班 ☎28-1000
■田平町福祉保健センター ☎53-2111
■大島支所市民協働課福祉保健班 ☎57-0977
■大島支所市民協働課福祉保健班 ☎55-2511

発達障害には、さまざまな見解があり、明確に定義が決まっていなというのが現状です。この障害群には、発達的には遅れや偏りがわずかであったり、部分的であったりすることから、日常生活を送る上で発達障害と思われるにくく、「子どもがふざけている」「親のしつけがなっていない」といった誤解を受けやすく、医療の分野でさえも、時には判断や診断が難しいという特性を持っています。

そのため、当事者の努力不足や怠け、あるいは親の育て方の問題から生じた誤解されることが多く、社会的な無理解と当事者の生きる上での困難だけが蓄積されていってしまいがちです。その意味で発達障害と呼ばれる障害群は、これまでの「見える障害群」とは別

保健師だより『発達障害について』

生月支所
保健師 伊藤純子

の生きにくさ、難しさを持った障害といえるかもしれません。

最近では、対人能力面でのつまづきとして「広汎性発達障害」あるいは「自閉症スペクトラム」、行動上の問題として認められる「注意欠陥多動性障害(ADHD)」、学習面でのつまづきとして判断される「学習障害(LD)」や巧緻運動面の不器用さを認める「発達性協調運動障害」という名称などがよく知られるようになりました。そしてこれらの障害群のうち、知的発達に遅れの少ないものについて、通常、軽度発達障害という用語で総称して呼ばれることもあります。

障害と気づかれない場合、子どもに無理な努力が要求されてしまいか、子どもの評価が非常に低く見られることになってしまいがちです。そこから生じる誤解と追いつめられ感、あるいは孤立感や自己評価の傷つきは、その子どもにより生活のしにくさを生じさせます。そのため、できるだけ早く気づき、その子どもに合った適切な対応をすることが大事です。子どもの発育に不安を感じることがあれば、一度保健師にご相談ください。



ただお 五嶋 忠勇さん(82)
(津吉町在住)

平戸市老人クラブ連合会長、わだつみの里理事長を始めとして、地区商店街の活性化や、地区住民の体育・文化の向上のために日々活動されています。さらに家業の経理も行っています。

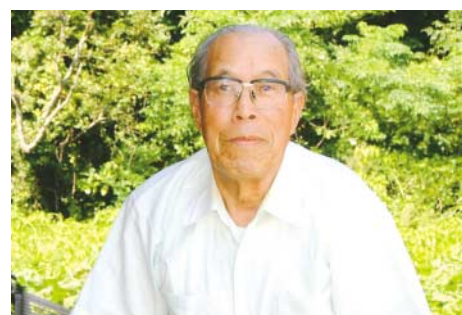
●元気の秘訣●

パソコンで書類を作って手先を動かしたり、地区の人たちのことを考えること。晴れの日には畑仕事、雨の日には読書。

※地域包括支援センターでは、今月号から介護予防を目的として日々頑張っている高齢者のみなさんを紹介していきます。



Secret of Lively



まさ 前原 茂作さん(84)
(木引町在住)

息子さん夫婦と4人のお孫さんに囲まれて暮らしています。朝早く、昼からは涼くなってから、畑の草取りなどの農作業を受け持っています。また、月に1回は老人会と忙しく過ごされています。

●元気の秘訣●

無理をしないように、農作業をすること。好き嫌いを腹八分目、酒はひどく飲まない、タバコを吸わない。

新着図書紹介

みんなの図書館

このほかたくさん
の新着図書があります!!

平戸図書館 ☎22-4017

[11月の休館日] 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)
文化の日(3日・土)、勤労感謝の日(23日・金)

『歴史と文化探訪 日本人とくじら』
著者名/小松 正之
出版社/ごま書房

日本中の鯨を訪ねて歩き考える散歩式くじら学で、くじらと日本人の関係を発掘。私たち日本人独特の捕鯨史と文化を持つ民族として、どのように関わっていくべきか。今まで知らなかったいろいろな関係が見えてくる一冊。

- 片耳うさぎ/大崎 梢
- あなたがここにいて欲しい/中村 航
- 1950年のバクトス/北村 薫
- ホテルジュシー/坂本 司
- ハッピーエンドにさよならを/歌野 晶午
- つくもがみ貸します/畠中 恵
- 狸穴あいあい坂/諸田 玲子
- NEXT(上・下)/マイクル・クライトン
- 労働基準法がよくわかる本/下山智恵子
- なつかしい話 歴史と風土の民俗学/宮本 常一
- そうだ、葉っぱを売ろう!
- 過疎の町、どん底からの再生/横石 知二
- 歯周病 わかる ふせぐ なおす/小西 昭彦・小西かず代
- はじめての型染め/伊藤 純夫
- 知っ得明治・大正・昭和風俗文化誌/国文学編集部
- 長崎島の現代詩史/山田 かん

『本って、どうやって探したらいいの? 図書館へ行こう!2』

著者名/赤木かん子
出版社/ポプラ社

まい、たいき、ゆうとは図書館でスズミシの飼育方を調べることに。司書の人に、本を探すときに便利な分類のルールを教えてください。図書館で働く人や本の探し方などをわかりやすく説明する。

- うきさばちです/川端 誠
- うしお/伊藤 秀男
- ゆうひのおうち/篠崎 三朗
- そばくだめき/梅田 俊作
- えほんであそぼう さんぽさんぽ1,2,3/村上 勉
- ゆく河の流れは絶えずして/軽部 武宏
- ねほすけはとどけい/ルイス・スロボドキン
- マリーのお人形/ロジャー・デューボアザン
- 1ねん1くみ1ばんぐいしんぼう/後藤 竜二
- はたらきもののなまけもの/斉藤 洋
- No. 6 #6/あさのあつこ
- 赤鬼エティン 愛蔵版おはなしのろうそく8/東京子ども図書館
- わたしのノラネコ研究/山根 明弘
- 楽器の絵本 トランペット/ヘンドリック・ベルケ
- はなっぱいになあれ(紙芝居)/松谷みよこ・長野ビデ子

●11月の主なもよおし●

- おはなし会 毎週土曜日 午後2時~
- 赤ちゃんおはなし会 13日(火)午前10時30分~

永田記念図書館 ☎28-0128

[11月の休館日] 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)
文化の日(3日・土)、勤労感謝の日(23日・金)

『「ゆがみ」解消バイブル』
編/日経ヘルス
出版社/日経BPMック

便秘、冷えは疲れのもと!「ゆがみ」を取って、太りにくい元気なカラダに!!仕事に、家事に、育児に毎日大忙し。バタバタしている中でも、きれいでいたいと願うのが女ごころ。疲れた体と心をゆっくりほぐしてみませんか。

- 剣豪血風録/津本 陽
- 遠い風の記憶/初音 奏
- 聖灰の暗号 上・下/帯木 逢生
- カゼヲキル①助走/増田 明美
- 坊ちゃん物語 青天の霹靂編/森 祐介
- 学んで楽しんで86歳こころ若く生きる/清川 妙
- 古典籍の装幀と造本/吉野 敏武
- プライドと情熱 ライス国務長官物語/アントニア・フェリックス
- リボンでつくるお花の本/野木 陽子
- 新・朝食のすすめ/香川 靖雄
- おもしろサイエンスおいしい水の科学/佐藤 正
- お裁縫のきほん/肥沼 雅子
- お好み焼 たこ焼 いか焼 鉄板焼の教科書/森久保成正
- やさしくわかる仏像入門/向吉 悠睦
- 文字と社会/国立国語研究所

『あるひ あひるが あるいていると』

作/二宮由紀子
出版社/理論社

「あ」がつくコトバだけで、お話をかいてみたら…。「にほんごって、こんなに面白い」と、再発見できます。音読にぴったりのお話です。

- かめのおひるね/山崎 克己
- かいものつくし/石原美枝子
- わたしはあみちゃん/ママダミネコ
- てんをおしあげたはなし/佐々木マキ
- かぜ フーホッホ/斉藤 俊行
- あまいとうもろこしとカタイトウモロコシ/佐武絵里子
- みどりのふえ/おぐらひろかず
- 隅田川 愛しいわが子をさがして/小田切恵子
- ほくはつんこヒーロー うんこいってきます!/スギヤマカナヨ
- ひなたほっこしたら/ひよ子
- アンパンマンとホラ・ホラコ/やなせたかし
- ほくのへうお変身日記/緒島 英二
- ミシシビギくれたもの/リチャード・ベック
- ホラーバス 1・2/パウル・ヴァン・ローン
- こちら葛飾区亀有公園前派出所両さんのクイズ大達人/秋本 治

●11月の主なもよおし●

- おはなし会(絵本・大型絵本・紙芝居など)17日・24日
- 映画会 10日
- ・源吉じいさんと子ぎつね
- ・あんじゅとずしおう

第3回平戸市児童読書感想発表大会

11月18日(日)午後1時~ 市ふれあいセンター ゆめホール

※市立図書館の本は、各公民館をとおして貸出や返却ができます。詳しくは、図書館・各公民館の図書室へお尋ねください。

伝統的建造物群保存地区調査 大島村神浦

寺社と町並み

神浦には1社3寺があります。大島村は、天然の良港に恵まれ、古くから海上交通の要衝として知られ、遣明船団などは南西部の広い山湾に寄港し滞在していました。神浦は、地頭職・大島氏の館(前平)の眼下にあって平戸や九州陸地への航路がとりやすく、大島氏用船の係船地であったと思われます。

大島猶通は、「平戸箕坪城の戦」から間もない1495年、東神浦の海岸にあった天降神社(1025年～)を現在の位置に遷宮し、自ら神職を勤めています。

また、同じころ、金剛院が開基(真言宗、草創は神亀・天平時代)、天降神社の別当として藩政時代は大島祈願寺院となっています。1588年には西福寺(浄土宗)、1615年には後

の真教寺(浄土真宗)が小倉から来島した漁師や僧によって開かれています。海岸付近は賊が侵入しやすいなど危険性がありましたが、大島氏武士団を背景に安全性が確保され、門前町のような漁業集落が出現していたものと考えられています。さらに1667年には、鯨組を創業した井元氏が現在の位置に真教寺を建立し、1672年には神浦漁業発展のため地元水産家たちが和田津美神社を創建しています。これらの寺社の存在は、神浦に相当の営みがあり町並みが形成されていったことを物語っています。ちなみに史料に初めて見える「神浦」は、1656年の「田方帳抜書」「畑方帳抜書」に「神浦免」とあり、神浦の成立が17世紀以前にさかのぼることは間違いないといわれています。

DEN
伝建
ニュース
KEN

■お問い合わせ 教育委員会大島分室 (☎内線6140)

「ちょっと増やせる付加年金」

■保険福祉課国保年金班 (☎内線2590) ■佐世保社会保険事務所 (☎0956-34-1141)

国民年金の保険料は定額で現在、月額14,100円となっています。

老後に、より多くの年金を受けたい場合は、毎月400円の付加保険料を納めることで、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされます。付加年金の受給額は200円×付加保険料納付月数です。

【計算例】

▼例えば、付加保険料を10年間納付した場合

付加保険料 ⇒ 48,000円(納付総額)

付加年金額 ⇒ 24,000円(受給年額)

付加年金を2年間受給すると納付した付加保険料総額と同額になります。

※上記の付加年金額は、65歳から受給した場合の年金額です。

※国民年金基金に加入中の人は、付加年金に加入することはできません。

※付加保険料は、納付期限を過ぎると納付できません。納付期限は翌月末日(休日・祝日の場合は翌営業日)です。

付加年金は任意加入です。届け出により加入したりやめたりすることができます。届け出は保険福祉課国保年金班、または各支所市民協働課、各出張所の窓口で受け付けます。届け出の際は印かん・年金手帳をご持参ください。

おしえて
年金

平戸
遺産

市指定無形民俗文化財 館浦の須古踊

Vol.25



▲中踊り

館浦の須古踊は、生月町館浦地区で毎年8月16日に行われている伝統行事です。

当日の朝、大行列を擬した華やかな行列が集落内の道を練り歩きながら、比賣神社、ながさき西海農協山田支店、生月大魚籃観音像、館浦漁協、法善寺、潮見公園(安満岳)に対する奉納)の順に、杖・挟箱・槍の演技と中踊りを奉納していきます。

が、その途中、一般の家々でも「ブサタバライ」という披露の演技と踊りを行います。

須古踊の起源は、佐賀県の須古で行われていた芸能が、天正2年(1574)の須古城の落城により落ちのびた侍によって各地に伝わったものとされ、市内では大島、度島、獅子にも伝わっています。ただ、踊る目的は、大島では供養のため、獅子で



▲アビヤゴ

は雨乞いのためですが、館浦ではキシタンの信仰を捨てさせるために始まったとされ、神仏へ奉納する意味合いが強いようです。

館浦の須古踊の特徴の一つが、中踊りの中にアビヤゴ(シンブツ)という笹竹を持った異装の少年が加わる事です。これは元々、各地を回って念仏踊りを指導していた新発意という芸能者の姿を写したもののようです。

もう一つの特徴は、行列に傘鉾が加わることです。傘鉾という長崎



くんちが有名ですが、かつては平戸や大島神浦のおくんちにも傘鉾が出ていました。傘鉾はこの行事を始めるにあたり、平戸藩主から墨屋家(現黒田家)に下賜されたものですが、盆行事の傘鉾というのは珍しいかたちです。



▲傘鉾

文化財DATA

- 名称 館浦須古踊行事
- 種別 市指定無形民俗文化財
- 指定年月日 平成7年3月
- 所在地 生月町館浦

生月町博物館・島の館企画 いきつきの「ココがスゴか！」 作品大募集！

サンセットロードから見た夕陽、大^{おお}瀬^{ばえ}鼻灯台、アゴ製造の風景や、自分しか知らない小さなことなど、たくさんご応募ください

応募方法

生月のココがスゴい！と感じた場所やもの、人やエピソードなどを表現した作品（エッセイ、俳句、短歌、絵手紙、イラスト、写真など）に氏名（ペンネーム可）、住所、連絡先を記入の上、郵送またはFAX、E-Mailにてお申し込みください。

応募条件

- ①作品のサイズは、はがきから新聞を広げた大きさまでとし、写真や画像をデータで応募する場合は下記のサイズ・容量までとします
 - ・画像サイズ 1024×768ピクセル以上
 - ・ファイルサイズ 2MB(2048KB)以下
 - ②なるべく見やすい表現(大きさ)にしてください
 - ③当事者や第三者に害をおよぼさないこと
 - ④内容に誤りが無いこと
 - ⑤内容がテーマに一致していること
 - ⑥応募枚数は自由です
- ※応募いただいた作品の著作権は生月町博物館・島の館に帰属します。また、作品の返却はしません。

応募締切 **12月16日(必着)**

作品の展示について

市民のみなさんからご応募いただいた作品を一挙に展示します。

〇と き 12月23日(日)～1月27日(日)

午前9時～午後5時(最終入館時間 午後4時30分)

〇ところ 生月町博物館・島の館

※本企画展のみの見学は無料です。

応募・お問い合わせ

生月町博物館・島の館

いきつきの「ココがスゴか!」展係 ☎53-3000

FAX 53-3032 E-Mail isana@ikitsuki.com



▲「勇魚取絵詞」より(白石円樹氏所蔵)



第10回 たびら中瀬草原クロスカントリー大会 参加者募集

玄界灘を望む草原を力いっぱい駆け抜けてみませんか！

と き **12月9日** 午前**8**時受付 午前**9**時開会

と ころ **中瀬草原(田平町大久保免)**

種 目

- 1.0Km ファミリー(幼児～小学3年生)
- 1.5Km 小学4年男子・女子、小学5年男子・女子、小学6年男子・女子
- 2.0Km 中学女子、壮年女子(40才以上)
- 3.0Km 中学1年男子、中学2・3年男子、高校女子、一般女子、壮年男子(40才以上)
- 5.0Km 高校男子、一般男子

参 加 料

- 一般・壮年 1,500円・高校生 800円
- 小・中学生 500円・ファミリー1組(2人)1,500円

申込締切 **11月16日(必着)**

申込方法

申込書に必要事項を記入し、参加料を添えてお申し込みください。申込書は生涯学習課、教委各分室、各公民館に備えています。



申込み・お問い合わせ

たびら中瀬草原クロスカントリー大会
実行委員会(教育委員会田平分室内)
☎57-0207



地籍調査事業(閲覧)についてのお知らせ

国土調査課 国土調査班
☎内線2904

平成18年度に次の地区において実施した地籍調査についての閲覧(地籍調査後の成果の確認を実施します)。

○地区名および字名

▼地区名 度島第1地区

▼字名 崎瀬・神田・上大久保・下大久保・根岳・白津知

○閲覧期間

▼11月9日(金)～19日(月)

午前9時～午後5時

国土調査課(岩の上町1481番地1、平戸文化センター手前)

▼11月20日(火)～28日(水)

午前9時～午後5時

度島町三免集落センター

(度島町又499番地、飯盛漁港内)

○持参するもの ①印かん(認印でも可)②委任状(代理人が閲覧する場合)

※閲覧期間中に訂正のない場合は、今回の地籍調査結果のとおり、土地登記簿の表示および公図が変更されます。

奨学金の返還はお早めに

教育委員会庶務課
☎内線2606

長崎県育英会および平戸市奨学基金貸付金は、奨学金の返還期日を守らず、滞納している人が増加し、大変困っています。

返還金は、後輩の新たな奨学金となります。貸与を受けていた人は、返還期日を守り、早めに納付しましょう。

市立病院シャトルバスをご利用ください

平戸市民病院総務班
☎28-11113

平成17年10月の市町村合併により、生月病院と平戸市民病院は経営の統合を行い、市民のみなさんに医療サービスの提供を行っています。

平戸市民病院の「整形外科・眼科・小児科」といった、生月病院と異なる診療科を利用していただくため今年10月から、生月病院と市民病院間を週2回1日3便のシャトルバス運行を行っています。ぜひご利用ください。

○運行日 毎週火・金曜日

○行程(停車場所) 生月病院前・生月町中央公民館前・リック前・館浦出張所前・ふれあい広場・平戸市民病院

○発車時間(生月病院前)

▼1便 午前7時48分発

(午前8時30分着)

▼2便 午前9時48分発

(午前10時30分着)

▼3便 午後0時48分発

(午後1時30分着)

公営住宅の入居者募集

都市計画課総務住宅班
☎内線2283

入居申込みをされる人は、申込書に添付書類を添えて、都市計画課総務住宅班、または各支所産業建設課にお申込みください。

○募集戸数 13戸

平戸地区4戸

生月地区8戸

田平地区1戸

※詳細については、お問い合わせください。

○提出期限 11月15日(木)

※郵送でも受け付けます。(必着)

○添付書類 ①世帯全員の源泉徴収票または所得証明書②納税証明書③住民票謄本

○選考方法 募集戸数を超える応募があった場合は、抽選で入居者を決定します。

※注意 入居を辞退することがないよう、十分検討の上、お申込みください。

日の浦地区まちづくり交付金事業事後評価原案の公表について

田平支所産業建設課産業建設班
1内線5132

平成16年度から実施しているまちづくり交付金事業に係る「日の浦地区」の事業評価原案を、次のとおり公表します。

事業評価については、ごなたでも閲覧することができます。

○閲覧期間 11月5日(月)～19日(月)

○閲覧時間 午前8時30分～午後5時15分

○閲覧場所 田平支所産業建設課※事業評価については、市ホームページでも閲覧できます。ご意見のある人は、田平支所産業建設課までご連絡ください。

▼URL
<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/>

「市民総合相談所」をご利用ください

市民課
☎内線2521

国、県、市などの行政に関する相談、家庭内や隣近所とのトラブルに関する事など、そのほか、人権に関することなど、何か困ったことや疑問に思ったことがあります。たら、無料で相談に応じます。

秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

○とき 11月16日(金) 午後1時～午後4時

○ところ 市ふれあいセンター

○相談員 行政相談委員、人権擁護委員、心配ごと相談員、長崎県方法務局平戸支局職員

狩猟解禁のお知らせ

農林課林務班
☎内線2266

11月15日から翌年の2月15日まで(イノシシの捕獲に限っては3月15日まで)狩猟が解禁となります。法令で定められた鳥獣保護区などの規制区域、人家のある場所、公園などを除く山野、海岸などで狩猟が行われますので、狩

猟期間中は次の点に注意してください。

①山歩きや遠足に出かけるときは、目的地やその行程が、狩猟が行われる場所であるかどうかなど、事前に安全確認を行ってください。

②山野を歩いたり、山林・田畑で作業をする場合はなるべく目立つ服装で(目立たない服装は獣と誤解される恐れがあります)、ラジオを流すなどして自分の存在を周囲に知らせるよう心がけ、登山歩道から外れたり、やぶの中に入ったたりしないようにしてください。単独行動は避けましょう。

③狩猟にともなう危険と思われる行為や事故を見聞きしたときは、最寄りの警察署に通報してください。

④狩猟が行われる場所については、農林課林務班、または各支所産業建設課へお問い合わせください。

最低賃金のお知らせ

観光商工課商工物産班
☎内線2275

地域別最低賃金の改定の公示が

行われましたので、お知らせします。

○長崎県 地域別最低賃金
時間額 619円

※前年度から8円引き上げ

老人保健と国民健康保険制度改正の住民説明会を開催します

保険福祉課国保年金班
☎内線2589

老人保健制度・国民健康保険制度は、みなさんが安心して医療を受けられるための大切な制度です。これからの安心して医療が受けられるように、平成20年4月から制度が見直されることになりました。改正の主な内容について、次の日程で各地区午後6時30分から住民説明会を開催します。

市民のみなさんの多数のご参加をお待ちしています。

○説明会の主な内容

『後期高齢者医療制度が始まります』

これまでの老人保健制度に代わり、75歳(一定の障害がある65歳以上の人で所定の申請を行った人も含まれます)以上の人は全員、「後期高齢者医療制度」という新し

対象地区	とき	ところ
度島地区	11月20日(火)	度島中部公会堂
大島地区	11月21日(水)	大島村離島開発総合センター
生月地区	11月22日(木)	生月町中央公民館
田平地区	11月26日(月)	田平町民センター
南部地区	11月27日(火)	市多目的研修センター
中部地区	11月28日(水)	市ふれあいセンター
北部地区	11月29日(木)	市離島開発総合センター

※各地区午後6時30分から1時間程度

『国民健康保険制度の一部改正になります』
改正予定の主な内容について説明します。

『特定健診・特定保健指導が始まります』
これまでの基本健診が終わり、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)対策を取り入れた新たな「特定健康診査(特定健診)・特定保健指導」が始まります。その仕組みについて説明します。

市では、市内事業者などの広告掲載による地域の活性化、また、本市の財源確保を図るために広告事業に取り組んでいます。次のとおり広報ひらどおよび市ホームページにおいて、有料広告の掲載を希望する事業所などは左記によりお申し

広報ひらど・市ホームページバナー広告の 広告主募集

☎ 総務課広報広聴班
☎ 内線 2316

- 開設時間 午前9時～午後5時
- 開設場所 税務課納税班
- 内容 市税・国民健康保険税・介護保険料の収納、納税相談

- 開設日 11月25日(日)
- ※以降、毎月1回最終日曜日
- ただし、今年の12月は、23日(日)となります。

平日の昼間は忙しいという人のため、日曜日に税金の納付窓口の開設を行います。

税金の休日納付窓口 を開設します

☎ 税務課納税班
☎ 内線 2543

福祉医療の更新手続きは 16日までに

☎ 福祉事務所子育て支援班
☎ 内線 2572

現在、母子家庭の福祉医療該当者に発行している受給者証の有効期限は11月30日です。更新の手続きを受付期間中にお願います。期間内に更新の手続きをしない場合は、今後の助成を受けられなくなりしますのでご注意ください。※医療費の助成を受けるには、まず、受給資格の申請が必要です。随時、受け付けていますのでお申し出ください。なお、確認の結果、該当しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 受付期間 11月5日(月)～16日(金)
- 対象者 母子家庭の母と子
- ところ 福祉事務所子育て支援班、または各支所市民協働課、各出張所
- 持参するもの ①印かん②健康保険証③金融機関の通帳④児童扶養手当証書、または遺族年金証書など

※現在受給資格をお持ちのみならず

「つばきの実」を 買い取ります！

☎ 田平支所産業建設課
☎ 内線 5132

北松森林組合が、つばき油の原料となる、つばきの実を次のとおり買い取ります。

- 品 種 やぶつばきの実(平成19年度産に限る)
 - 期 限 平成20年1月31日(木)
 - 価 格 1kg当たり450円
 - 持込場所 田平支所産業建設課および北松森林組合
 - 注 意 サザンカの実や古い実、小石などを混入しないようよく選別し、十分乾燥させて湿気がこもらないようにしてください。
- ※つばきの実の買い取り代金の支払いは、口座振込になりますので、口座番号が分かるものをご持参ください。

11月は 児童虐待防止推進月間

☎ 福祉事務所子育て支援班
☎ 内線 2571

児童虐待に関する相談件数は、依然として増加しており社会全体

んには、別途通知します。

込みください。

- 広告掲載開始時期
- ▼広報ひらど 平成20年1月号(12月28日発行予定)から
- ▼市ホームページ 平成19年12月1日(土)から

- 広告掲載枚数
- ▼広報ひらど(毎月) 最大8枚(最小4枚)
- ▼市ホームページ 最大10枚

- 広告サイズ
- ▼広報ひらど 1枚 縦45mm×横85mm
2枚 縦45mm×横175mm
- ▼市ホームページ 1枚 縦40ピクセル(最大80ピクセルまで)×横170ピクセル

- 参 考
- ▼広報ひらど 1万5千部発行(毎月)
- ▼市ホームページ トップページアクセス件数 約2万件(1か月平均)

- 広告事業に関する基準など
 - 市では、広報物全般に掲載する広告について、一定の基準を設けています。
- 詳しくは、広告代理店までお問

節水にご協力を！

☎ 水道局給水班 ☎ 22-3838

9月以降、市内では少雨傾向の地域があり、その地域の水源地(ダム、ため池)においては、水不足が深刻な状況となりつつあります。今のところ地下水との併用などにより、制限給水や断水には至りませんが、水源の貯水率が回復するまでの間、家庭・職場・学校などにおいて、「節水」にご協力をお願いします。最新の貯水率は、市ホームページに掲載しています。

【貯水率(H19.10.26現在)】

地区名	貯水施設名称(位置)	貯水率
平戸地区	神曾根ダム(下中野町)	100.0%
	箕の坪ダム(下中野町)	77.7%
	大元兼用池(下中津良町)	20.4%
	川内兼用池(東中山町)	22.2%
	福良兼用池(野子町)	50.5%
生月地区	早福砂防ダム(早福町)	3.0%
	神の川ダム(南免)	64.9%
田平地区	桜川ダム(南免)	86.9%
	久吹ダム(福崎免、岳崎免)	80.0%
大島地区	東流川砂防ダム(前平)	95.2%
	轟川砂防ダム(的山川内)	100.0%

で早急に解決すべき重要な課題となつています。家庭や学校、地域など社会全般にわたり児童虐待問題に対する社会的関心の喚起と地域協働による児童虐待防止対策の取り組みを推進し、その充実と定着を図っています。

また、福祉事務所子育て支援班では家庭相談員を配置し、電話や窓口での相談に応じています。

早期発見・早期対応のためにも、何か気付いたことがありますたらすぐにご連絡ください。

- 標 語 「きこえるよ 耳をすませば 心のさけび」
- 期 間 11月1日(木)～30日(金)

全国秋季火災予防運動 11月9日(金)～15日(木)

☎ 消防本部予防課
☎ 22-3167

これから冬場にかけて暖房器具の使用が多くなり、空気も乾燥することから火災が起こりやすい季節となります。

この運動は、大切な生命、財産を火災で失うことのないよう、市民一人ひとりがあらためて火災予防の大切さを認識し、「火の用心」を心がけていただくため行われる

ものです。

市消防本部では、11月9日、運動の一環として、市消防団、婦人防火クラブ、幼年消防クラブおよび危険物安全協会のみなさんによる防火パレードを実施します。火災はちよつとした不注意から起こります。「私のところは大丈夫」という考えを今一度、「もしかすると」にあらためて、火災を起こさないよう注意しましょう。

「ごみ分別の徹底を！」

☎ 市民課環境交通班
☎ 内線 2528

道路脇のごみステーションに、別の地区の住民が車で通る際、ごみを捨てていくという事例があり、その地区の住民に多大な迷惑をかけています。

そのほとんどが、収集日が違うため収集されていないものや、分別をしていないものなどで、それらのごみが回収されずに残っています。ごみは、自分たちのごみステーションにきちんと分別して出し、利用するみなさんと清潔に管理しましょう。

美しい平戸、きれいな街づくりにご協力をお願いします。

お詫びと訂正

☎ 総務課広報広聴班
☎ 内線 2316

「広報ひらど」10月号で、次のとおり内容に誤りがありました。ここに訂正しお詫び申し上げます。

- 35ページ 8月末までの救急件数
- ▼火災 31件(17件)
- ▼救急 831件(818件)

11月は「被害者支援
推進強化月間」です

平戸警察署
☎22・3110

県警察では、11月を「被害者支援推進強化月間」に設定し、広報活動を推進しています。

■被害相談窓口のご案内

警察では、被害に遭った人やそのご家族などからの相談に応じています。秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

▼警察安全総合相談

☎9110

☎095・823・9110

平戸警察署

☎22・3110

▼心の相談窓口（県精神保健福祉センター・心の悩み）

☎0957・52・7867

▼民間被害者支援団体（長崎被害者支援センター・火く土曜日）

☎095・820・4977

ご利用お待ちしています

☎22・3100
☎22・3100
☎22・3100

さまざまな技能を持った約330人の会員が、経験と能力を生かし、

コールセンター
基礎講座開催！

☎0956・62・4151
☎0956・62・4151
☎0956・62・4151

県では、コールセンターや事務職などへの就職を目指している人のために、「コールセンター基礎講座（後期）」を開催します。

受講を希望する人は、受講申込書を佐世保高等技術専門校のホームページからダウンロードし必要事項を記入してお申し込みください。

詳しくはお問い合わせください。

URL

http://www.sasebo-tc.ac.jp/

※詳しくは、同校企画広報室にお問い合わせください。

○募集対象 コールセンターなどへ就職を目指している人

※ハローワークで求職申込みをした人に発行されるハローワークカードをお持ちの場合は、優先的に受講できます。

○ところ 佐世保情報産業プラザ（佐世保市崎岡町）

○実施期間

▼第4回

11月5日（月）～9日（金）

▼第5回

一般家庭や企業、官公庁などの仕事をお引き受けしています。

○お引き受けしている仕事の内容

▼技能作業 植木の剪定、ふすま・障子・網戸張替えなど

▼営繕・塗装作業 建物の軽易な補修、大工、左官、塗装など

▼一般作業 草とり、草刈り作業、農作業、墓掃除など

▼家事援助サービス

室内の清掃など

そのほか、どのような仕事・作業でもご相談に応じています。お気軽にお電話ください。

また、シルバー人材センターでは、おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある人を募集しています。

県北地域に養護学校
高等部分教室を！

☎0956・75・0669
☎0956・75・0669
☎0956・75・0669

なのはな（ハンディある人と共に歩む会）は、障害のある子どもを育てる保護者が中心となって活動しているグループです。現在、平戸市、松浦市を中心とした県北地域での養護学校高等部分教室設置に向け活動中です。なのはなでは、障害のある子どもが、平戸市近辺に養護学校が

11月12日（月）～16日（金）

○定員 各回25人

○内容 コールセンターの基礎知識、話し方、ビジネスマナー、パソコンの入力スキルの向上など

「日本の青空」を
上映します

☎23・3540
☎23・3540
☎23・3540

現在の憲法の基礎を作り上げたと言われる憲法学者・鈴木安蔵の手記を通して憲法誕生の真相をドラマチックに分かりやすく描いた映画「日本の青空」を上映します。

○上映日

▼第1回 12月1日（土）午後3時～

▼第2回 12月5日（水）

午後6時30分～

（市ふれあいセンター）

▼第3回 12月8日（土）午後3時～

（たびら活性化施設）

○入場料

▼大人（一般） 1千500円

▼シニア（大学生・60歳以上）

1千200円

▼子ども（小・中・高校生） 1千円

※前売券は、200円引き

（ただし、大人は300円引き）

ないため、高等部への進学を断念したり、やむを得ず施設入所、就職した人の情報を集めています。

また、これから養護学校高等部の進学を控えていたり、現在養護学校へ通学している人のさまざまなご意見を一人でも多く必要としています。どうぞ、なのはな事務局までご意見をお寄せください。

特設人権相談所の
開設について

☎22・2263
☎22・2263
☎22・2263

12月4日（火）から10日（月）までは

人権週間です。家庭内のもめ事や隣近所とのトラブルなどみなさんの悩みや心配ごとを相談してみませんか？

秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

▼12月4日（火）

生月船員福祉会館

▼12月5日（水）

大島村離島開発総合センター

▼12月6日（木）

田平町福祉保健センター

▼12月7日（金）

市離島開発総合センター

※開設時間は、各会場とも午前10時～午後3時となっています。

平戸税務署からのお知らせ

☎23・2131
☎23・2131
☎23・2131

11月1日以降、平戸税務署におかけいただいた電話は、自動音声での応答に変わります。自動音声応答によりアナウンスされた番号をご用件に応じ選択すると、福岡国税局の電話相談センター（音声案内「1」）、または当税務署（音声案内「2」）に案内します。電話相談センターでは、国税に関するご質問やご相談をお受けしていますので、どうぞお気軽にご利用ください。

子育て講演会のお知らせ

☎28・0026
☎28・0026
☎28・0026

地域の子どもを地域で守り育てるためにも、ぜひご参加ください。

○とき 11月27日（火）午後7時～9時

○ところ 市ふれあいセンター

○テーマ 親の悩み・地域の悩みに答える地域ぐるみの子育て支援

○講演 三浦清一郎氏（生涯学習や子育て支援に関するエキスパートとして活躍中）

○入場料 無料

出生
元気な
赤ちゃん

赤ちゃん

保護者

行政区

平戸地区

松本 翔太郎

濱本 翔太郎

唐津 夢奈

納屋 裕一

針尾 萌香

松口 夢

永田 陽樹

富山 仁美

内山 蓮

濱崎 菜々子

橋口 未和

【生月地区】

今村 悠人

松本 千幸

本山 優心

大坂 陽菜

坂本 准一

宮木 恵子

稲澤 陽太

【田平地区】

力武 竜哉

今村 悠人

松本 千幸

富山 仁美

内山 蓮

濱崎 菜々子

【生月地区】

松本 翔太郎

濱本 翔太郎

唐津 夢奈

納屋 裕一

針尾 萌香

松口 夢

永田 陽樹

富山 仁美

内山 蓮

濱崎 菜々子

橋口 未和

【田平地区】

今村 悠人

松本 千幸

本山 優心

大坂 陽菜

坂本 准一

宮木 恵子

稲澤 陽太

【天島地区】

松田 テルコ

白石 コメ

坂本 数男

富田 進子

井川 スミ

富田 進子

今村 孝行

富田 進子

富田 進子

富田 進子

富田 進子

9月末までの
火災救急件数

火災 33件（18件）
救急 918件（923件）
（ ）内は昨年同期

9月の交通事故

件数 7件
死者 0名
負傷者 7名
（重傷）3名（軽傷）4名

善意のともじび

篤志および香典返しで、次の方々からご寄付がありました（敬称略）。

ひらどふれあい福祉基金へ

○飯良町 富村フミエ（亡夫 又義）

○志々伎町 福田酒造株式会社（社員および来館者の寄付金）

宝亀小学校へ

○宝亀町 作江 照美（亡夫 清治）